

【益田市】
校務 DX 計画

1. 現状について

本市において、文部科学省の示す校務 DX の在り方に合わせ、学校における FAX でのやり取りや押印を必要とする文書の見直しとともに、グループウェアやクラウドツールの活用による連絡の迅速化やペーパーレス化等を推進している。

併せて益田市版統合型校務支援システムの導入や学習系及び校務系ネットワークの論理的分離を行い、指導者用端末 1 台で全ての校務を行うことを可能としているが、ネットワークを使い分ける際の煩雑さやデータ連携には課題がある。

2. 今後の計画について

今後、「GIGA スクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議」の提言や「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」による自己点検結果等を踏まえ、文部科学省の示す下記の方方向性に基づいて取組みを進める。

- ・校務系と学習系のネットワーク統合
- ・校務支援システムと周辺システムのクラウド化
- ・ロケーションフリー等の環境整備による校務
- ・ゼロトラストの概念に基づいたセキュリティ対策の構築
- ・データ連携基盤（ダッシュボード）の創出

校務支援システム（次世代型）の導入については、県が主導する県域統一の校務支援システム共同調達の動きにも連動しながら、調査・研究を進めていく。